

「現在の医学・医療問題の根源と将来展望

：信州大学医学部の役割」

大橋 俊夫

信州大学医学部の存立の原点は社会や国民の負託に答えて、人間性豊かで意欲と情熱に満ち、知識と技術を身につけた医療人や教育・研究者を責任を持って育成し、社会に輩出することだと考えています。

現在、医学・医療をめぐるのは初期臨床研修制度の導入を契機とした、医師の地域間較差の拡大、医療訴訟のリスクや過酷な勤務状況などを遠因とする診療科間の医師の偏在など解決すべき大きな問題があり、また、一方では、国立大学の法人化により、大学病院にも徹底した経営努力が求められています。このような厳しい状況の中、信州大学医学部においては長野県の医療を担う優秀な人材を数多く輩出し、長野県の医療の最後の砦としての機能を維持すべく種々の取り組みを行なっております。

本講演では、信州大学医学部の現状を御報告し、長野県の公衆衛生を担っておられる皆様とともに今後の長野県の医療・公衆衛生の発展のためには何が必要かについて考えてきたいと存じます。